

## 令和3年度西東京市第2次環境基本計画後期計画の重点プロジェクトの進捗について

### 1) 環境課題への対応

#### ① 温暖化対策 みんなで見える化

##### ア. LED照明器具助成制度

	申請数 (件)	助成額 (円)	取 替 台 数 (台)	年間電力削減量 (kwh) ※2	年間CO <sub>2</sub> 削減量 (kg-CO <sub>2</sub> ) ※3
工事費 助成※1	44 (55)	917,000 (1,989,000)	134 (336)	13,117 (27,330)	6,414 (13,364)
購入費 助成	281 (135)	2,080,000 (1,011,000)	445 (244)	54,552 (28,536)	26,676 (13,954)
合計	325 (190)	2,997,000 (3,000,000)	579 (580)	67,669 (55,866)	33,090 (27,318)

上段：令和3年度 下段：令和2年度

※1 工事費助成内訳：専有部分 38 件（前年度 40 件） 共用部分 6 件（前年度 15 件）

※2 【蛍光灯(W)からLED(W)照明に取り替えた場合の消費電力の差分】×【点灯時間(h)】×365 日

※3 【年間電力削減量(kwh)】×\*0.489(kg-CO<sub>2</sub>/kWh) \*CO<sub>2</sub> 排出係数

##### イ. 環境家計簿

- ・市内小学校 16 校の取組結果の集計を終え、二酸化炭素排出量の削減効果約 2,884 kg (杉の木換算 206 本) 等の取組結果を各学校に返却し、フィードバックした。
- ・学校別の二酸化炭素排出量の削減効果(杉の木換算)などの今年度の取組結果をHP等で公開した。

##### ウ. 小学校での出前授業

- ・市内小学校 3 校にて環境保全課職員による出前講座を行った。(受講児童数：326 人)
- ・地球温暖化に関する一般的な知識や、世界及び日本の対策、西東京市の取組(クールチョイスの普及啓発など)の説明を行った後、環境省制作DVD「2100 年未来の天気予報」の一部を上映した。
- ・環境啓発冊子(環境カレンダー)を作成し、小学校 5 年生に配付した。

##### エ. 保育園、幼稚園での出前講座

- ・市内幼稚園 3 園、保育園 6 園にて環境保全課職員による出前講座を実施。(受講幼児数：370 人)
- ・地球温暖化の影響、みんなができるクールチョイスを中心に講話を行った。
- ・受講した幼児向けに、クールチョイスガイドブック(飛び出す絵本)を配付。

オ.「みんなでいっしょに自然の電気(通称:みい電)」(東京都事業)の周知

- ・11月1日号市報、市ホームページ、市Twitter及び市内掲示板等で周知
- ・11月21日の環境フェスティバルにおいてパネル掲示により周知した他、田無庁舎2階総合受付、エコプラザ西東京ロビーでもパネル掲示による周知を行った。
- ・東京都と連携し、西東京市からのメッセージを掲載したチラシを市内小中学校、公共施設に配布

## ②河川清掃でコベネフィット

保谷高校との連携事業

- ・令和3年7月と10月に保谷高校と協働して石神井川の河川清掃を行った。事業の内容は市ホームページに掲載した。

## ③マイバッグでお買い物

エコプラザ西東京講座「不要になった傘布でつくる「エコバック」講座の開催

- ・令和3年12月に2回開催。参加者24人
- ・使用しなくなった傘の布を利用してエコバックを作成する講座を実施した。捨てればごみとなる骨の折れた傘や使用しなくなった傘の布を利用してエコバックを製作し、買い物の際にエコバックを持参することで、レジ袋の抑制に繋げる。

## ④みんなで外来種駆除

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、西東京いこいの森公園に生息する外来種「ワルナスビ」の抜き取り作業は未実施であった。10月には、西東京市環境保全活動等推進委員会において、公園管理委託業者からワルナスビの生息について説明を受けた。

## ⑤まちなかの自然に学ぶ

・市民団体との連携事業(ムラサキソウの栽培・活用)

- ・エコプラザ西東京の一区画で絶滅危惧種のムラサキソウを栽培している。今後、紫根の色素含有の確認テストの実施を予定。

## 2)活動主体の支援・育成

### ①面的情報発信、②点的情報発信

- ・令和3年11月17日に開催されたエコプラザ西東京の利用者懇談会において、エコプラザの活用、登録団体の要望意見を話し合った。

### ③環境づくり

- ・令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により、エコプラザ西東京がワクチンの接種会場となったため、施設の貸出が行えなかった。令和4年度もこのような状態が継続する予定である。